かぞえてみよう、すうじ

すうじの絵本（E ゴ）

五味 太郎／作・絵　岩崎書店

すうじがあるとどんないいことがあるでしょう。じかんもひにちもすうじであらわします。ものの大きさやねだん、じゅんばんもすうじがあるのでわかります。ゲームをしたり、かんがえごとをするにも…。ほかにはどんなことがあると思いますか？

コブタをかぞえて I から MM（E ガ）

アーサー・ガイサート／作，久美 沙織／訳

BL出版

わたしたちがいつもつかっているすうじは、０から９までの 10 このしゅるいがあります。でも、せかいにはローマすうじといって７つの文字をつかってあらわすすうじもあります。どのようにつかうのか、コブタをかぞえながらまなんでみましょう。

かぞえてみよう（E ア）

安野 光雅／作・絵　講談社

みひらきごとに０から 12 までのすうじと絵がかかれています。おなじふうけいのようですが、よく見てみると、それぞれのページのすうじにちなんだ絵がえがかれていて、きせつもかわっていくようです。文字はなく絵とすうじだけですがストーリーもあり見どころいっぱいの絵本です。

おまたせクッキー（E ハ）

パット=ハッチンス／さく，乾 侑美子／やく

偕成社

おかあさんが 12 このクッキーをやいてくれました。ビクトリアとサムがふたりでわけようとすると、おきゃくさんがふたりやってきました。4人になったのでクッキーは 3 つずつ。ところが、またおきゃくさんがふたりやってきて…。さて、クッキーはなんこたべられるでしょうか。

ねむれないひつじのよる（E キ）

きたむら さとし／えとぶん　小峰書店

あるばん、ひつじのウィリーはねむれないので、さんぽに行くことにしました。いろいろないきものたちに会い、やがて大きないえにつきました。そこで絵をかき、ごはんをたべておふろに入ります。ウィリーはぶじねむれるのでしょうか。

この絵本にはすうじにちなんだしかけがあり、それにきづくとちょっとちがった見方でたのしめますよ。

こんなおおきなかず、みたことある？（E グ）

セス・フィッシュマン／作，イザベル・グリーンバーグ／絵，竹内 薫／訳　偕成社

わたしたちのせかいには、そうぞうもできないくらい大きなかずがあります。ちきゅうにある水のりょうや木のかず、そしてうちゅうのほしのかず。でも、１というすうじもとってもたいせつ。それはなぜかというと…？　よむとせかいの見え方が少しかわるかもしれません。

過去と未来とわたしたち

月刊たくさんのふしぎ２０２３年４月号

福音館書店

わたしたちの体は「げんし」という小さなつぶからできています。さんそというげんしだけでも体の中に 1000000000000000000000000000 こもあるそうです。そして、じつはそのつぶには、むかし生きていた人やどうぶつの体にあったものもふくまれています。そんな気のとおくなるような過去と未来のつながりについて、すうじを使いながらかいせつします。

ライフタイム（E ニ）

ローラ・M. シェーファー／ぶん

クリストファー・サイラス・ニール／え

福岡 伸一／やく　ポプラ社

生きものの一生にかんするいろいろなすうじについてかいせつした本です。１からはじまって、たとえばトナカイのつのは一生のあいだに 10 かい生えかわり、カンガルーのメスは一生のあいだに 50 ぴきのあかちゃんをうみます。すうじはどんどん大きくなって…。

フィボナッチ（E オ）

ジョセフ・ダグニーズ／文

ジョン・オブライエン／絵

渋谷 弘子／訳　さ・え・ら書房

むかし、イタリアにフィボナッチというすうじのべんきょうが大すきなおとこの子がいました。大人になるとフィボナッチはせかいをたびしながら、せかいのすうじについてまなび、やがてある大きなはっけんをします。それは、しぜんにかくされたとくべつなすうじだったのです。